

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：与謝野町

プロジェクト名	快適でやすらぎのある生活環境づくりプロジェクト		実施期間	平成23年度～ 平成29年度	テーマ	まちの安全・安心	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>当町は平成18年3月の3町合併により、新町・与謝野町となった。しかしながら、都市計画、公園・緑地の整備、道路・公共交通網の整備や情報通信基盤整備、上下水道の整備や防犯・安全といった、住民の生活基盤に大きく関わる分野で、旧3町とも整備状況が異なり、一つの町として調和のとれた均衡あるまちづくりを目指すことが課題となっている。</p> <p>また、平成27年度国政調査の人口は21,834人と前回調査より1,620人の減少となっており、今後の人口減少が懸念される中、産業振興と合わせて生活環境整備による定住促進も必要となっている。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>住民の定住を支える「快適で安らぎのある生活環境づくり」を目指して、本町の特性を活かした都市計画の推進、潤いのある暮らしの環境整備、交通ネットワークや情報基盤、上下水道等の整備、安心・安全な地域づくりに取り組む。</p>							
	総事業費（千円）	455,828	本年度事業費（千円）	20,563	交付金額（千円）	5,097		
プロジェクトを構成する事業の平成29年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	地域情報通信基盤整備事業	交付対象事業	光ファイバー網の整備と利活用		有線テレビ引込（宅地内工事60件）、送受信機器50台、D-ONUユニット50台、FM告知端末機40台購入			
	阿蘇霊照苑整備事業	交付対象事業	火葬施設の整備		火葬炉の整備			
	ごみ処理事業	交付対象事業	一般廃棄物の処理及びリサイクルの推進		ペットボトル仕分け用ペタールボックス購入			
	町営バス運営事業	関連事業	町営バスの運営を実施		町営バスを日曜日、祝日以外運行			
	上限片道200円レール事業	関連事業	高齢者片道上限200円レール事業の実施		利用人数：3,844人			
住民 協働 事業	高齢者運転免許証自主返納支援事業	交付対象事業	高齢者運転免許証自主返納者支援事業		高齢者運転免許証自主返納者支援事業（支援物品）85件			
	よさのみらい大学事業（再掲）	関連事業	よさのみらい大学の実施。		1コース2学部で全18回実施。904人の参加者			
	移住・定住支援事業	関連事業	移住・定住支援事業「与謝野IJU戦略プロジェクト」		与謝野IJU相談・交流窓口の設置、与謝野イン・レジデンスモデル事業、アクティブワーキング事業			
住民が 取り組む 事業	子ども見守り隊事業	関連事業	地域住民が小学校単位で下校時の見守り活動を行う		全小学校で実施。1,084人の隊員			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：与謝野町

成果指標①	成果指標の目標数値	空き家バンクデータを活用した移住相談件数 (H26：0件⇒H31：100件)		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	平成29年度：21件/年
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	空き家バンクへの登録がまだ少ないため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	—	(時期)
成果指標②	成果指標の目標数値	有線テレビインターネット加入率の向上 (H23：28.5%⇒H29：30%)		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	平成29年度：21.5%
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	平成27年から2社の民間の通信サービス事業者が参入したため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	—	(時期)
成果指標③	成果指標の目標数値	路線バス（宮津与謝エリア）の利用者数の増加 (H23：257千人⇒H29：283千人/年)		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	平成29年度：413千人/年
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	平成25年10月から始まった上限200円バスにより利用者数の増加がある。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	—	(時期)
成果指標④	成果指標の目標数値	コミュニティバスひまわりの利用者数の増加 (H23：5,267人⇒H29：5,800人/年)		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	平成29年度：5,049人/年
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	人口減少に係る利用者の減や、路線上の施設の変化等に対応できず、大幅な減少となった。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	—	(時期)
成果指標⑤	成果指標の目標数値	交通事故発生件数の削減 (H23：66件 → H29：0件)		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	平成29年度：29件/年
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	「0件」とはなっていないが、前年度と比べると、23件減少しており、一定の成果は出ていると考える。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	—	(時期)
成果指標⑥	成果指標の目標数値	有線テレビ加入率の向上 (H23：84.6% → H29：86%)		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	平成29年度：90.7%
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	住宅の新築、改築等を契機とした加入が多くあったため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	—	(時期)

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：与謝野町

成果指標 ⑦	成果指標の目標数値	子ども見守り隊の隊員数の増加 (H23：722人 → H29：757人)		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	平成29年度：1,084人	
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	PTAばかりでなく地元関係者にも見守り隊の活動が広く認知され、計画以上の隊員の確保ができているため。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	—	(時期)	—
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	交通事故の件数については、各種予防・啓発活動に取り組んだ結果、前年度より件数が減少している。0件に近づけるよう引き続き活動を続ける。 防犯灯の設置、見守り活動の実施により、犯罪は昨年度より大幅に減少した。 全体的には、短期的な結果は出なかったが、積み重ねることによって改善を努めていく。 ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。					

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：与謝野町

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	町の行う環境整備事業だけでなく、関連事業で住民生活にさらに踏み込んだ取組を事業者や住民と協働で行うことができ、快適な地域社会の実現に成果を得られた。
	府と市町村等との連携に資する成果	
	住民の自治意識を高める成果	安心・安全な生活環境整備が、すべての人にとっての快適な生活環境の整備に繋がるので、特に住民が地域において必要であるとする環境整備について、住民の意見や要望を聞き成果をあげることができた。
	リーディング・モデル成果	リベラルアーツ事業（幅広く質の高い教養）、地域づくり学部（地域資源の活用、地域課題の解決を題材）、与謝野ブランド戦略ビジネス学部（新規事業を立ち上げ希望者へ起業に関する実践的な学びの提供）といった学部・コースを開設することで、与謝野を愛し、多様性を認め合い、新しいモノコトを創出する人材の育成の場となった。
	広域的波及成果	
	行財政改革に資する成果	公共施設の改修整備などにより施設の長寿命化を図っている。
	その他の成果	